

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース

“黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)
〒271-0092 松戸市松戸 1834-5 小川ビル 2階
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

新連載！利雄が行く File 1 新座に行ってきました。

9/12
土曜日

埼玉県にある「新座さいがいつなりカフェ」を訪問しました。新座は松戸から電車を利用し40分で行けるところにあります。この訪問は、3月自主避難者交流会を松戸で実施した時、新座から参加して下さったのがご縁で招かれました。「新座さいがいつなりカフェ」では交流サロン「黄色いハンカチ」と同じように避難生活をされている方々が、安心して交流し、情報交換し、ホッとできる場として開設しています。当日岩手出身の方、宮城・福島からの避難者の方たち、支援者の方たちと話が弾みました。一番の話題は、民間借り上げ住宅の供与期間の終了のことでした。帰還の不安など悩みのお話は尽きませんでした。

ゲストスピーカーとして登壇して来ました。

10/24
土曜日

東日本大震災被災者支援千葉西部ネットワーク(松戸市)主催の「自主避難者の声を聞く会」が行われ、私とサロン事務局の高田さんがゲストスピーカーとして行ってきました。

参加者にはいわき市からの自主避難者で“ひなん生活をまもる会”代表の鴨下ご夫妻、朝日新聞の「プロメテウスの罠」を執筆している本郷 雅和氏他大勢の市民、30名以上が参加、私たちは、公ではあまり報道されない困難な避難生活を強いられている自主避難の実情を伝え、参加の皆様からは、日本国民の問題として考えるべきとの意見を頂きました。この機会を設けて下さった千葉西部ネットワークの皆様にご挨拶致します。



佐藤利雄(さとう・としお)

福島県出身。長年、東電の福島原発で作業員として勤務される。福島県南相馬市から松戸市に避難中。松戸・東北交流プロジェクトの運営委員として様々な集まりに参加される。(記細嶋)(写真は左から佐藤さん、本郷谷松戸市長、桜井南相馬市長)

予告

12月19日
14時～16時

今年も残りわずかになりました・・・。

黄色いハンカチ忘年会 '15 開催！！

※詳しい内容は次号でお伝えします！

避難者の体験記

連載！私はあの時こうだった 小松松子さん (岩手県陸前高田市)

被災者の方に、3.11の貴重な体験を一人でも多くの皆さんに忘れないで知って頂き語り継ぐことで今後も起こりうるであろう大災害に対してどんな心構えができるのか？自分自身に問いかけて頂けたら幸いです。

忘れられない2011年3月11日、小雪がちらつく寒い日だった。主人が散歩に出かけたのが、午後2時15分頃、家は国道の交差点にあり、いつも車の振動と騒音にはなれており、いつもと違う揺れに地震かなと咄嗟にガス栓、ボイラーのスイッチを切った途端下から突き上げるような大きい揺れに食器戸棚にしがみついた。玄関で割れる音、大きい花瓶が割れていた。数分置きに大きな余震が来て今まで何度も大きい地震があったが、津波は来ていないので、今度もそうだろうと思った時、防災無線の放送とサイレンが鳴り響いた。主人が散歩に出て30分後の事、「早く帰って来てえー！」と何度も叫んだ。その後揺れが小さくなった時裏木戸から道路に出てみるともう車の渋滞が続き、信号も止まり何人かの消防の人が誘導し、防災無線で早く避難して下さいと何度も言ってサイレンが鳴り渡り、余計恐怖に駆られた。近所の人達も避難所に向かっていく時、向こう側で何度か呼んでいたがあまりの騒音で聞き取れず、おそらく早く避難しようと言っていたのだろう。だが、主人が帰ってこない。家の中に入ってみると主人が玄関に来ていた。早く避難しなければと何かあった時といつも入れて置いた大き目のバックと厚着コートを持って家を後にしたが、車で逃げようにも渋滞で出れない中、主人は私の免許証を持ってきてくれたので後で身分証明になって助かった。



避難所は坂道になっているので気持ちが動転して思うように歩けずやっと着いたと思ったら「もおーここの危ないー！！高田一中に逃げろー！！」と大きい声が聞こえ、もうすぐ一中と下を見ると物凄い勢いで津波がすぐ下まで来ていた。建物を呑み込み燃えながら流されていく家、泥と海水に覆れ煙の様に見えた。「この高さまで津波なんだ！もう家も流されただろうなあ」と絶望の中、大きい杉の木や家があった場所が見えない恐怖で震え立っているのがやっとだった。体育館に泣きながら入って来る「高田はもう駄目だあー！なあーんにも無くなったあー！」誰かが叫んだ。夜になっても余震その度に悲鳴が上がる。寒さをしのぐ為に体育館のカーテンを外し友達と三人で体に巻きつけそうして朝の来るのを待った。(次号に続く)

みんなの広場

思い出したくないあの恐ろしい出来事、でも忘れてはいけない、伝えなければいつ又起きるかもしれないのだから。あのきれいな海がまさか！まさか！なんと表現していいのかわからない。町も建物も一瞬にして流れて行く光景が脳裏に焼き付いて離れない、只々恐ろしく悲しいだけ。今は帰る故郷も家もなく走馬灯のように月日だけ過ぎて行き日暮れて想うたびに止めどなく涙がこみ上げてくる。夜は眠れず、目がさめれば先のことを考えてしまう。岩手県 大船渡市 女性 80才代

各自治体の県外避難者の対応の違いに、落胆している。南相馬は冷たい。財政難でも、考えて欲しい。(夫)
借り上げ住宅と高速助成の延長は、生活していくには必須です。ストレスを溜めずに、また、うまく解消しながら、日々を過ごしていきたいです。(妻) 南相馬市

「こんな世の中になっている現在の思うこと」(某TV番組から引用)いい加減、日本国民は目覚めないといけない。特権階級の人達が楽しく幸せにくらせるように庶民が安い給料で、働き高い税金を払うことで成り立っている。特権階級の人達が望んでいるのは今のままずっとおろかで世の中のしくみや、不公平に気づかず、テレビや漫画でもぼーっと見て何も考えず、会社に入ったら上司の言うことを大人しく聞いて戦争が始まったら、真先に危険な所に行って戦ってくれればいい。こんなことを考えさせられ希望の持てない“ニッポン！！”とは？ 宮城県 40才代男性

豊穡の秋を迎え、今まさに自然の恵みを心ゆくまで受けられるはずなのに最近の状況は地球規模で自然災害や人身も乱れ、特に大いなる自然の脅威にはなすべもない。世の中では格差固定、下流社会の文字が、目につく。しかし、せめて人間の心だけは艱難辛苦を教訓に変え、貧しくても皆が助け合い経済ばかりが優先される社会でなかった昔の心意気ある人情や知恵に学び本質を知り、個々それぞれが真の知恵を出し合って未来に進んでいけたらと願い、裏路地でのんびり丸くなっている野良猫の無垢な姿に一時ほっとしたい今日この頃です。 南相馬市 60才代女性

避難者の「先の見えない不安」から少しでも気持ちが和らぎ心が軽くなるように願いながら投稿のコーナーを作りました。日々の暮らしで感じた想い、不安や不満、本音なんでもOKです。匿名で結構ですので是非お便り下さい。又、質問などありましたら、内容によっては専門家におつなぎします。(FAX、メール、お葉書、手紙にて受付中)

◆被ばくで労災認定◆ 朝日新聞

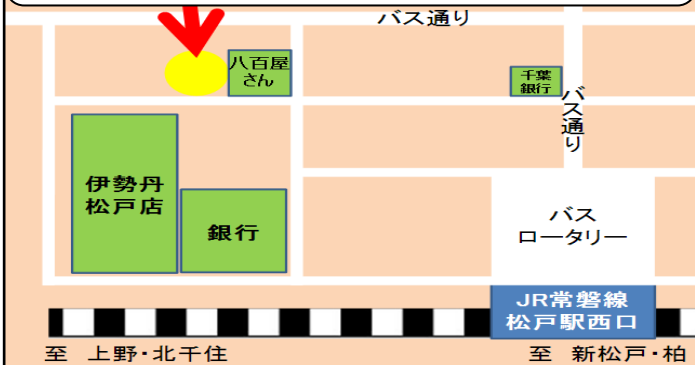
厚生労働省は、10月20日、東京電力福島第一原発事故後の作業に従事し、白血病になった元作業員に、労災を認定したと発表した。

原発事故への対応に伴う被曝と疾病に一定の因果関係があるとして労災が認められたのは初めて。認定された男性(41)は、朝日新聞の取材に「他の作業員が労災認定を受けられるきっかけになればうれしい」などと語った。

保子の窓

ご自分の病気より、他者を思う言葉になんとも切なく、胸が痛みました。今後を見守りたいと思います。

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」アクセスマップ
松戸駅西口から徒歩5分(八百屋さんの隣のビル2Fです。)



2015年度サポーター会員募集中！

松戸・東北交流プロジェクトでは、千葉県に避難をしている皆さんと交流・支援をする活動をしています。この活動を応援していただくサポーターを募集しています。交流サロン黄色いハンカチで受付をしています。

個人:1口1000円 法人・団体:1口5000円

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」11月の予定

毎週火水木 10時～16時オープン中。利用は1回100円です。

11月3日(火) 歌の日 担当:前田洋子さん
皆で楽しく歌いましょう

11月10日(火) 相談デー
就職・税金・介護・原簿補償・～どんなことでも～
相談員:古宮保子

11月11日・25日(水) 13時30分～
初めての囲碁教室～一から教えます～
市民ボランティア講師:今田靖雄さん

11月17日(火) 13時30分～ 手芸の日
折り紙・どんな作品ができるかお楽しみ 担当:戸丸栄子さん

11月19日(木) 被災地千葉県旭市訪問と
防災資料館で学ぶ

※サロンはお休みします。 ※同封のチラシをご覧ください

11月24日(火) 自主避難者交流の日
～語り合おう私たちのこれから～

11月26日(木) 13時30分～
いざという時のために

松戸市における災害時体制について

講師:松戸市総務部危機管理課職員

※同封のチラシをご覧ください

11月28日(土)

縁JOY東北 in ちばフェスティバル出展

12月3日(木) 13時30分～15時30分

チャリティー歌声喫茶

参加費500円

※同封のチラシをご覧ください